

Knights of Erin  
Extra Chapter

花  
はと  
ちみ  
つ

Fate/Zero UNOFFICIAL FAN BOOK  
Diarmuid x Artoria

後  
編

R18  
ADULT  
ONLY



# ! ATTENTION !

この本は以前発行した「エリンの騎士」と言うフィオナ騎士団バロシリーズ本の後日談(成人向け)です。ケルト神話の伝承で「ブリテンのアーサー王子(※アーサー王とは別人)がフィオナ騎士団に在籍していた」と言うエピソードにのっかり、アーサー王子を男装のアルトリアに差し替えたディルムッドとのカップリング捏造話です。ディルムッドは17歳くらいのイメージで描いています(が、作中年齢は不安定)

アーサーは普段は性別が反転して見える首飾り(魔法具)をつけていると言う設定です。

後日談なので本編(1と5辺り)を読んでいない場合意味がわからない部分もあるかなと思います。

## ・登・場・character・人・物・



### アーサー(アルトリア)

フィオナ騎士団に入団したブリテンの箱入り王子。家庭の事情で性別反転の首飾りを身につけて男装している。男性体に見えるが女の子。隔離(ほぼ密閉)されて育った為世間知らず。



### ディルムッド

フィオナ騎士団のまだ若い騎士。育ての親は妖精王。アーサーの恋人。アーサーの秘密を知るが変わらずに受け入れる。



### ベディヴィエール

ブリテンから付き従って来たアーサーに忠誠を誓う騎士。ブリテン時代はアーサーの武術鍛錬の相手をしていた。最優先事項は王子の幸せ。



### ディアリン

騎士団員。ディルムッドの友人で義兄弟。未来を見通す能力がある。



## Chapter III

Time Line ..... after 5

5のラスト直後の時間軸になります。

私のせうじの  
名は……

ニアルトリア





魔法使いだけが  
注意を促す為か  
時々この名を口にしたが…

私をこの名では  
呼ばなかった

父上も母上も

これを作った  
魔法使いしか  
いない



女とバレては  
閉じ込めて育てた  
意味がなくなつて  
しまうからだろう



お前の父君に  
こんな事は  
言いたくないが…

閉じ込め…



俺の

実の両親も  
褒められた人間  
ではないが……



……だが

お陰でこうして  
貴方と出逢えた

女として育っていたら  
エリンに来ることも  
騎士団に入ることも  
なかっただろう




それは……

王の人間性とは  
別の話だ



ブリット王は

人の子の  
親になるべき  
方ではない



父上に  
腹を立てて  
いるのか？



私は嬉しい

当たり前だ

今は貴方に  
隠しこともない

貴方は私が  
男でも女でも  
受け入れてくれて

笑い事では  
ないだろう

私の為に  
怒ってくれる

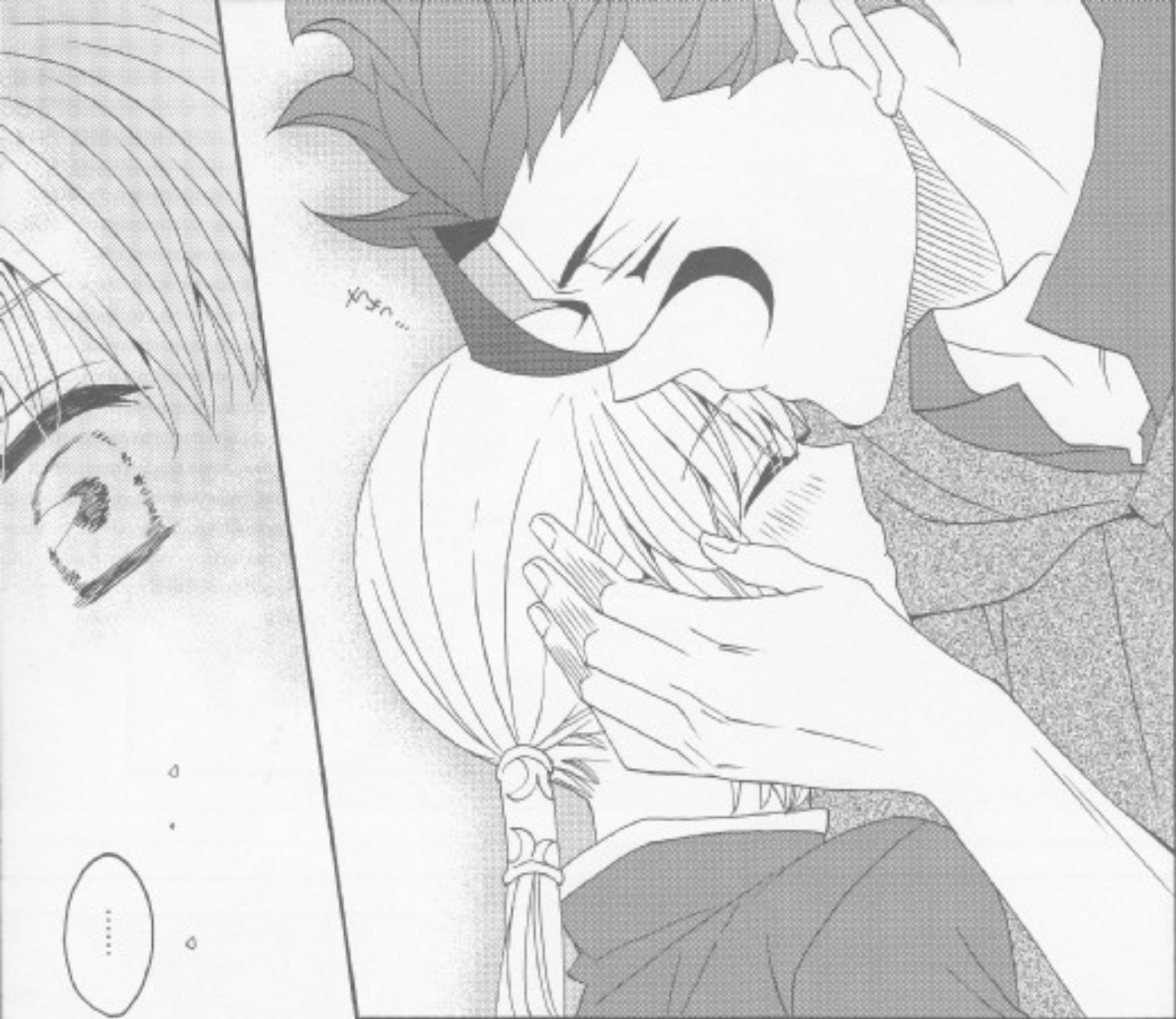


お前は——…ああもう



キチッ







なんだ？

友人の家に  
遊びに行くのは  
初めてだ

ふふっ



遅れてしまったが  
宴に参加しよう

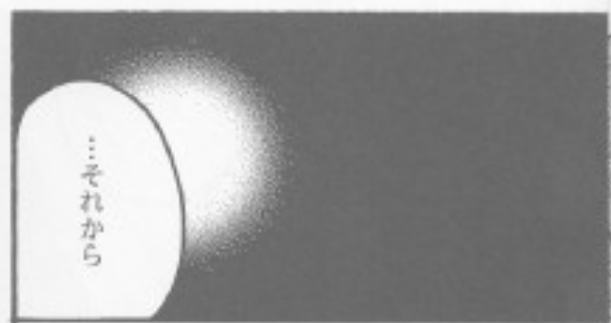
ああ…

フィンに  
挨拶をして  
明日出発だ



恋人の…  
家に行くのも…

…ハハ



…それから



イヤマンニハ〜

少しだけとか  
無理だから諦めろ

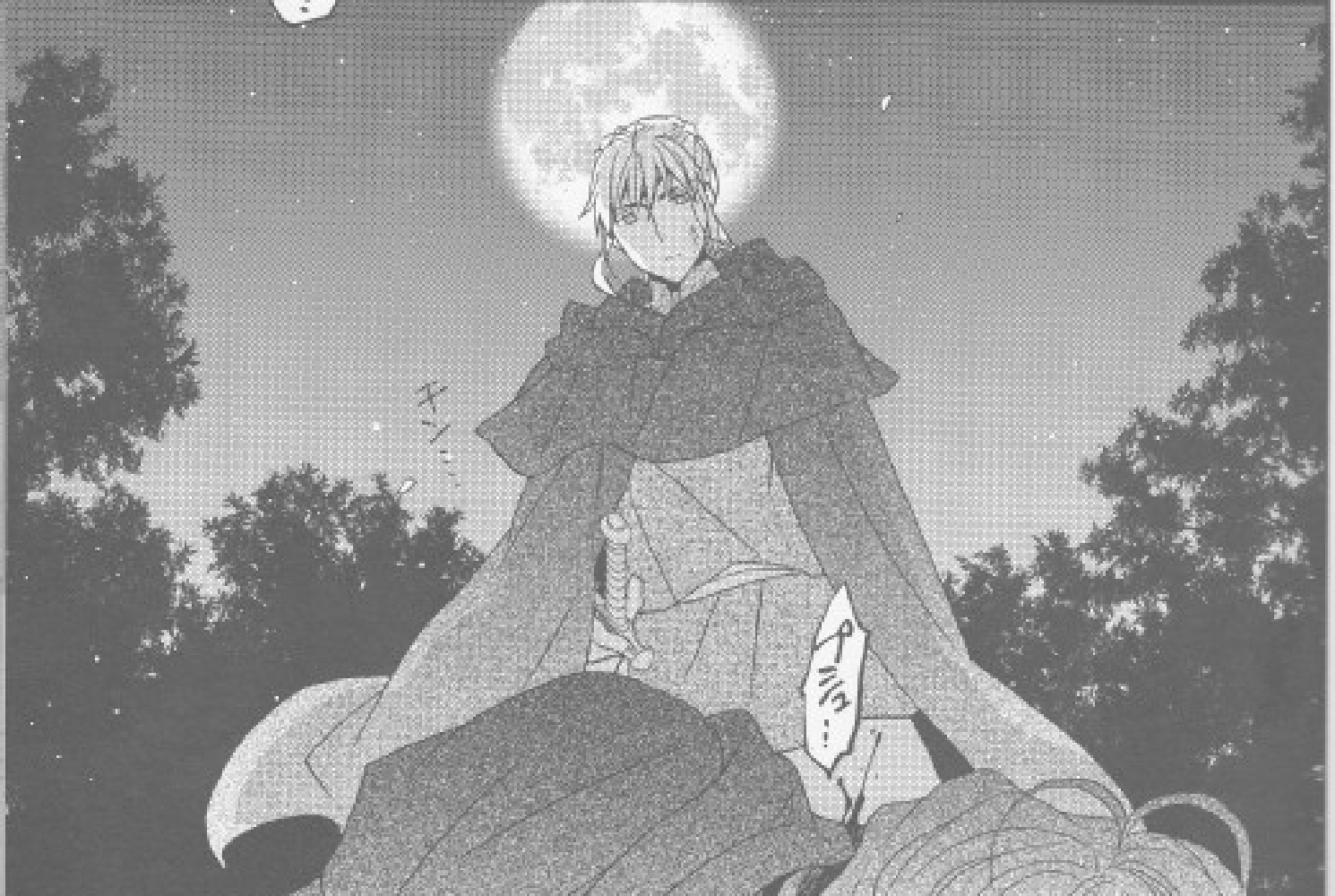
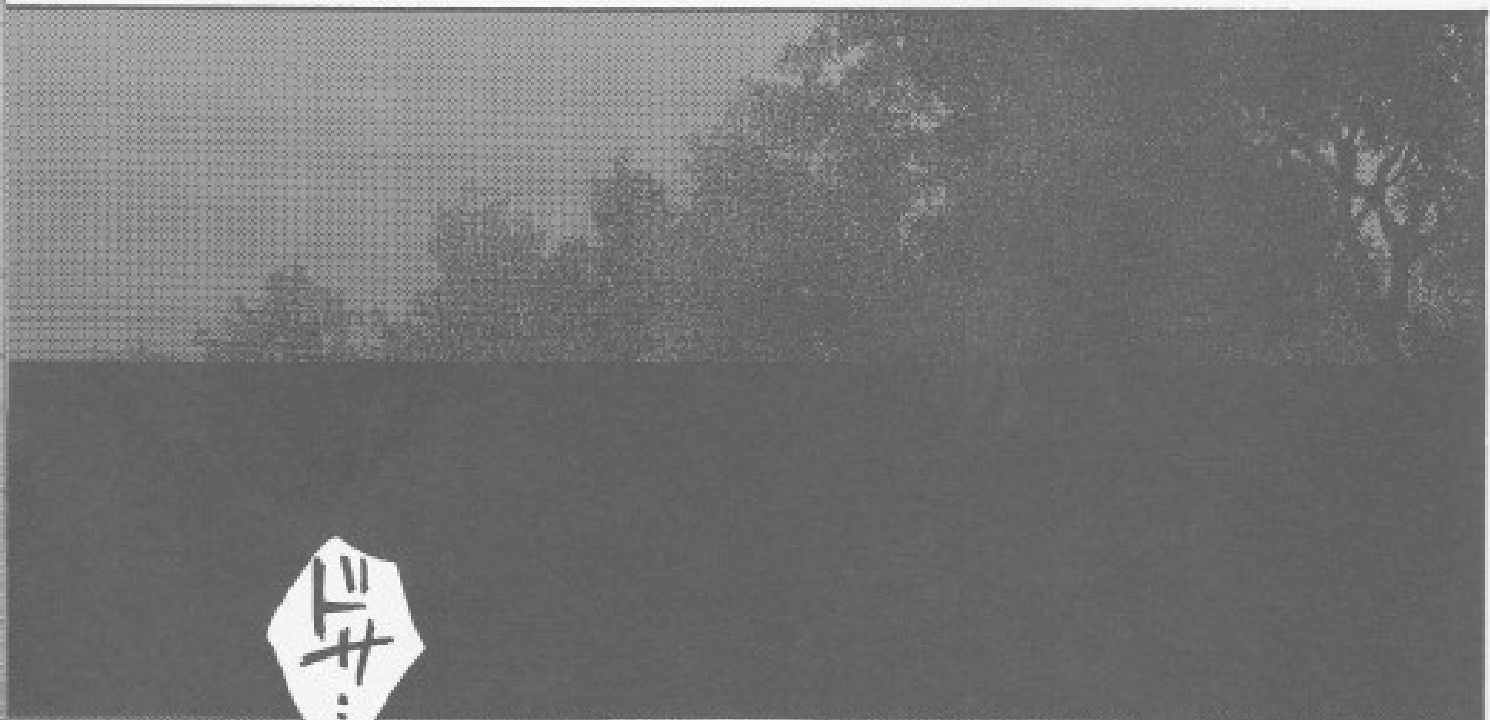
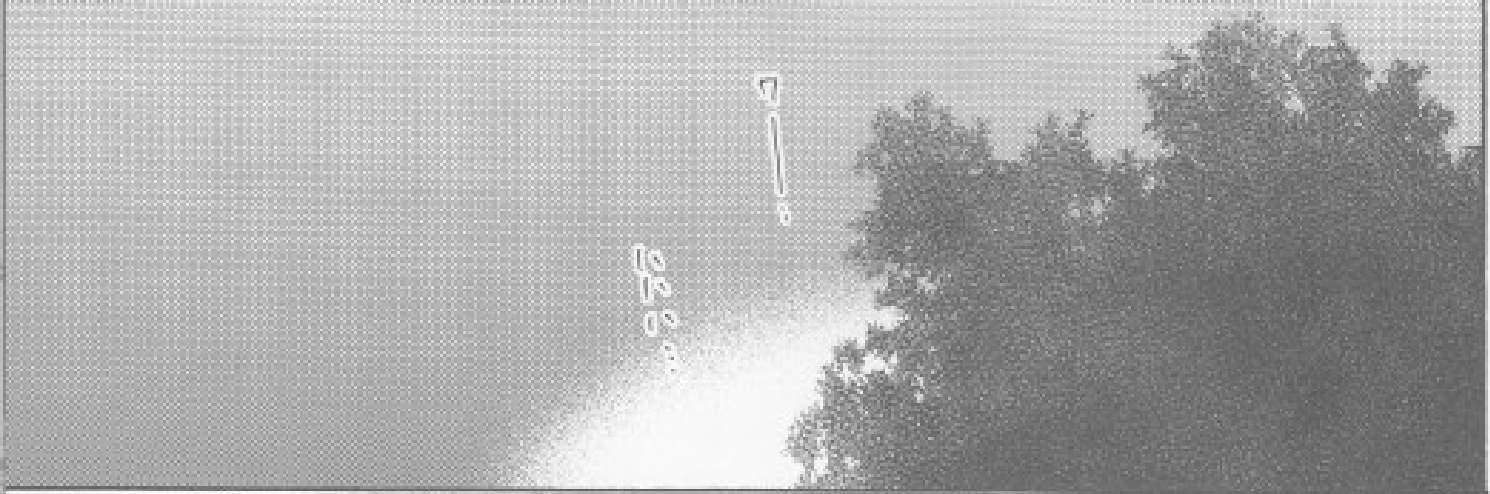
キョ〜〜〜〜

先読みを  
するのはやめろ

今年の締めだ  
早く来い

大々大  
いっせー

……ああ





身を護る為にも  
伝えた方がいいのは  
わかっています

けれど

これではあまりに  
惨いではありませんか…

今はアーサー様を  
戻らせる  
わけにはいかない

安全を確認したら  
連絡をいれます

……



団長や幹部を狙う  
と言っならわかる

だが何故  
入団したばかりの  
アーサーを？

都合よく  
貴方の留守を  
狙ったタイミング…

その上  
毒矢に自決…

暗殺を狙う相手に  
心当たりは？

……いえ  
ですが  
再び襲撃される  
危険もあります

その時は  
自決前に拘束を

捕らえた者が  
口を割りました





最初からです



——賊は懐に入り込んでいた……

いいえ



あの方を

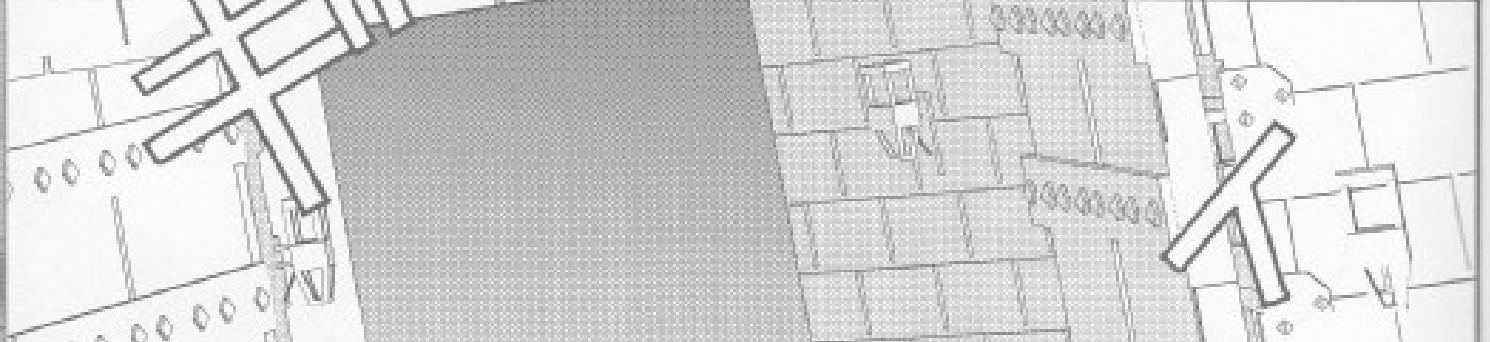
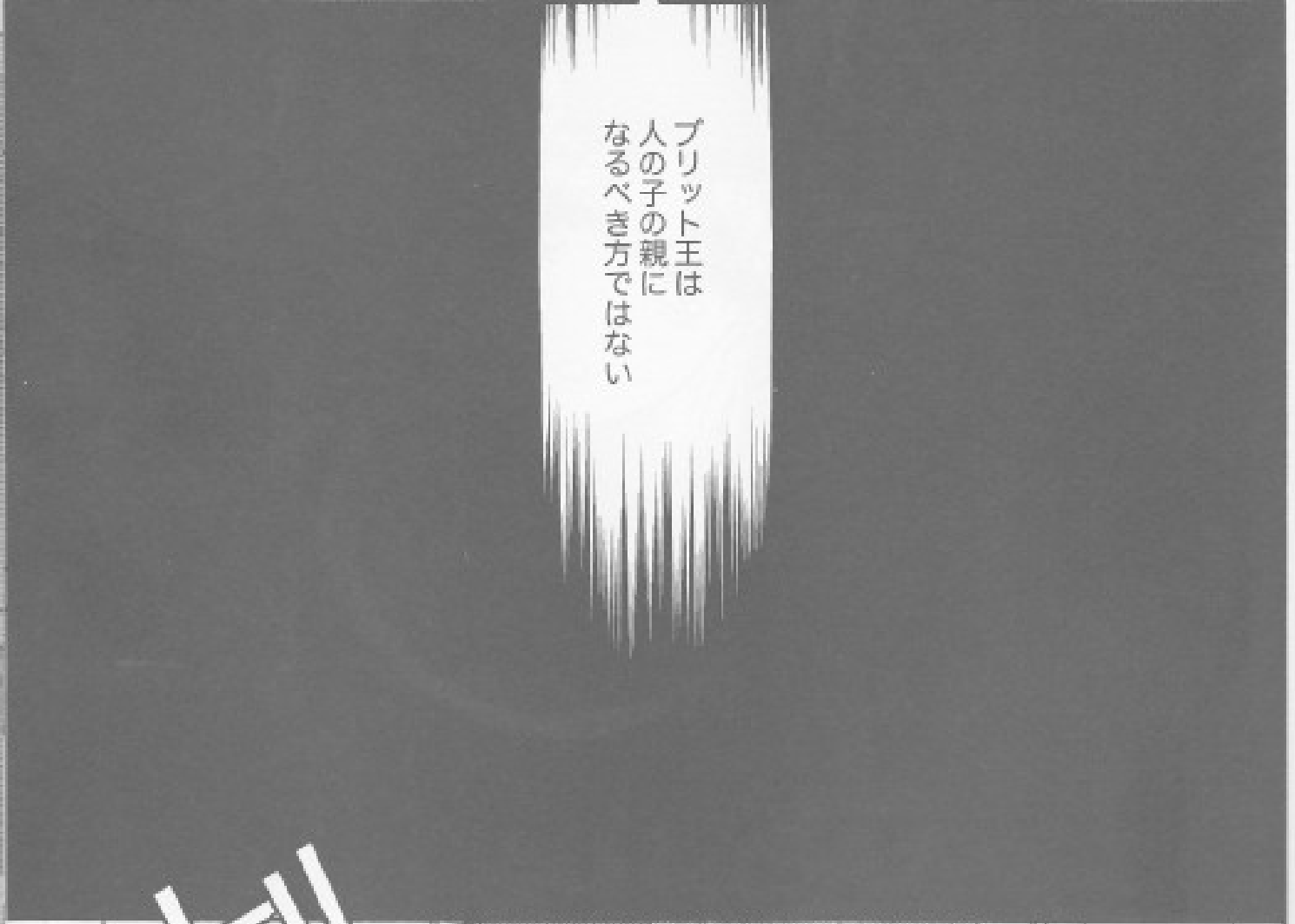
亡き者にしようと  
したのは……







ブリット王は  
人の子の親に  
なるべき方ではない





お館様  
おかえりなさいませ

ああ

留守中に何か  
問題は  
なかったか？

細かい事は少々

それは後ほど  
報告致します



騎士団の  
方でしたか

ミアーサーだ  
世話になる

部屋は  
俺と一緒に  
いい

酒と食事を  
頼む



お客様ですな  
寢室を  
ご用意します



フィオナの  
アーサーだ

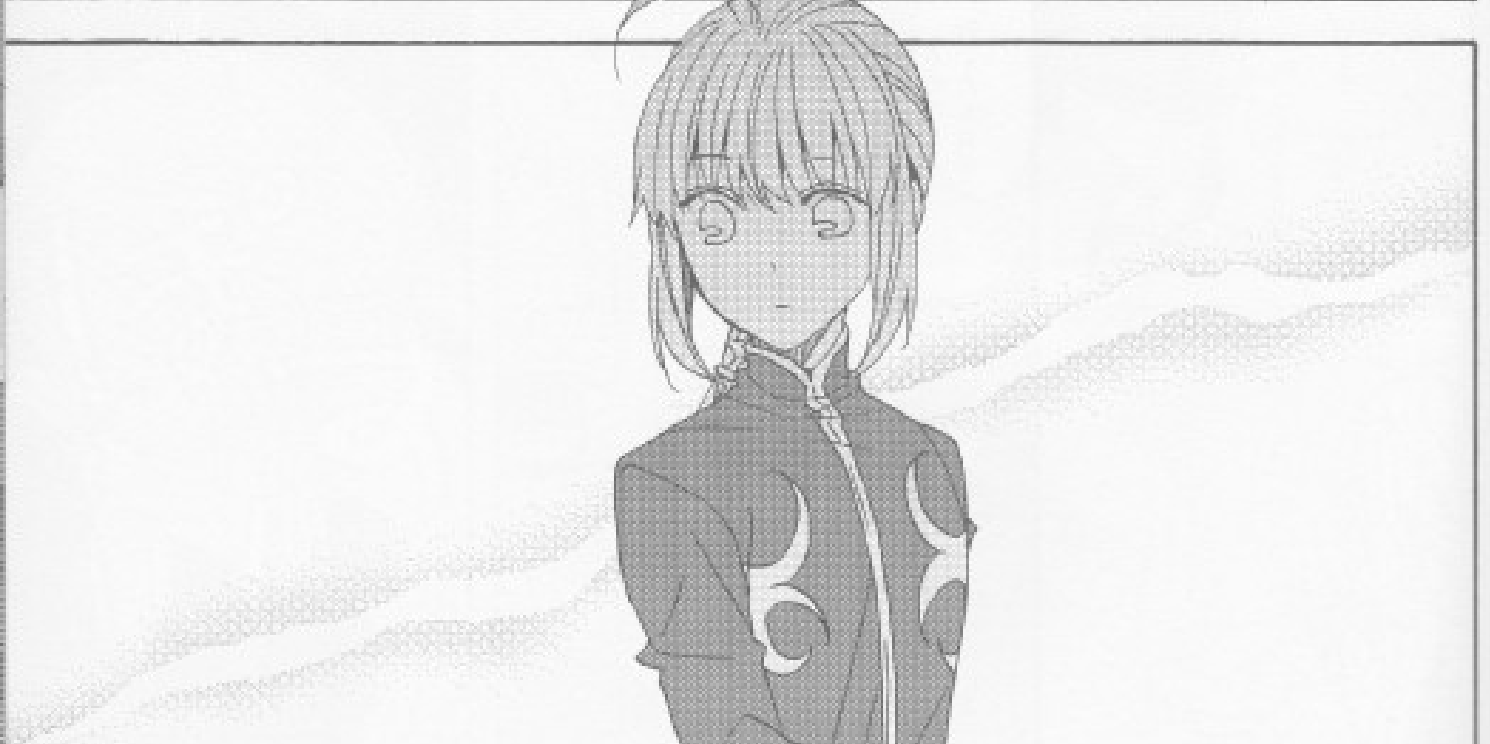
しばらく  
逗留するので頼む

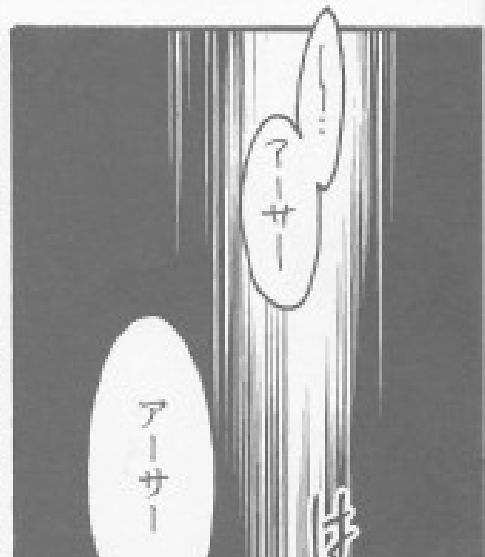
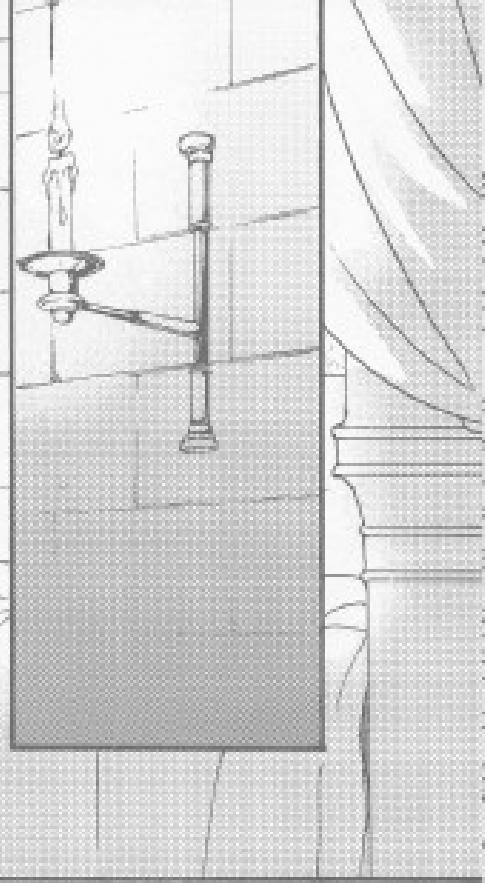


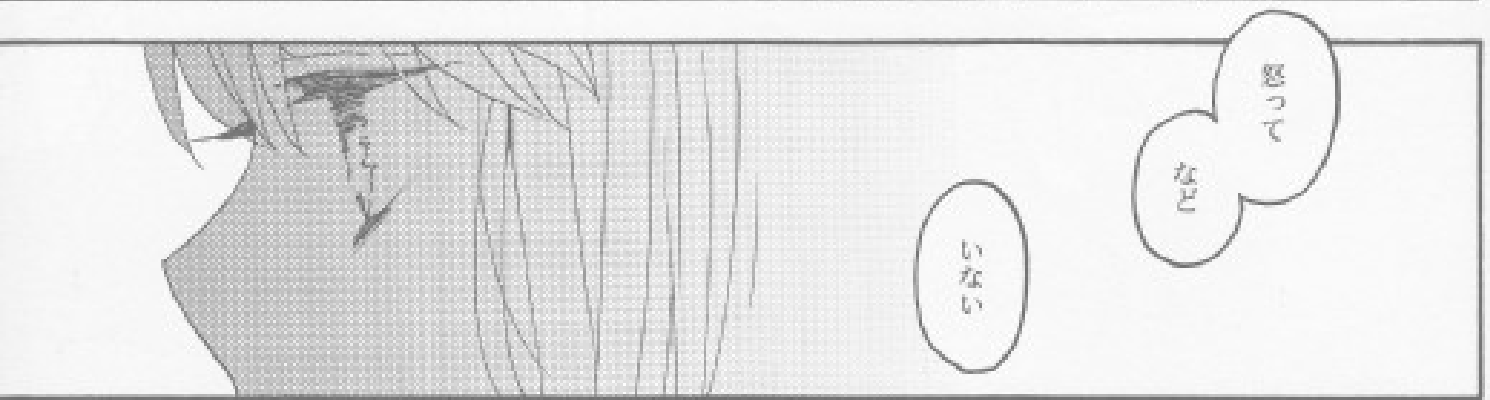
ミ了解  
致しました

ほうほう  
お館様……

アーサー様  
外套を  
お預かりします













二人きり  
だから…  
呼んでも  
いいか？



え…？

アルトリア…

っ



アッ！

アッ！

アッ！

キッ

アッ！

知っている  
擦れた  
欲情している  
時の彼の世

ディル……っ



びび

……さうしたマ

ぬ

……がなくても  
いいだろうか

おや

キ



……何故だ?



……恥ずかしい

えっ? 今更の?

ずっと男の姿で  
いたから  
慣れていないんだ  
この身体はっ!!

貴方には  
わからないだろう!  
不慣れた身体になってい  
恥ずかしさは!





…随分  
こだわるな

どちらも  
貴方ではないか

?

それは  
そうだが…

いや…結構  
違うだろう



そんな  
ことはない

でも…本当に  
とても美しい  
人だった

言っておくが  
女に見えているだけで  
あれは俺だからな？



貴方は  
どちらの私も  
好いてくれている

それと  
同じだろうっ

…お前は  
ほとんど姿が  
変わらんだろう



た…

確かに  
ほとんどと  
言えはそうだが

触ってわかる  
くらいは…

そういう  
意味ではない



かわら…ない

…





妖精魂を出る時に  
養父から  
授かったものだ

誰か持てたか？



さすが愛と  
美と若さの神…

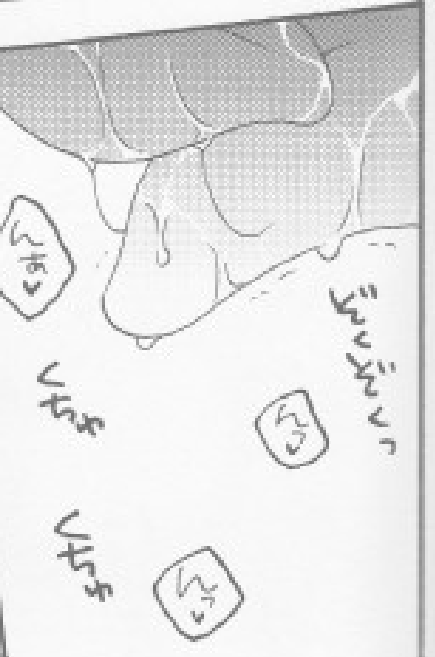
薄手なのに  
ちっとも寒くない

妖精の織った  
布だからな

よく  
似合っている



ありがとう…





あ...

うわ...

うわだ...



うわ

うわ



うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ

うわ



うわ

うわ

うわ

うわ

うわ



うわ

待...

うわ

うわ

うわ

うわ



うわ

うわ

うわ

うわ









ジュン

ジュン

フルトリア...



ジュン

ジュン

もっ...



満腹か...?

ジュン

ジュン

ジュン



BLOW